

2006年4月5日

各 位

上場会社名 株式会社ジー・エフ  
(コード番号 3751 東証マザーズ)  
(URL <http://www.gf-net.co.jp/>)  
本社所在地 東京都文京区大塚三丁目 20 番 1 号  
代 表 者 代表取締役社長 仲 吉 昭 治  
問 合 せ 先 常務取締役広報室長 岡 田 博 之  
TEL(03)5978 - 2261(代表)

## テレビ会議システムでNTTファネットと販売提携へ

低コストテレマーケティングを特色とする株式会社ジー・エフ(以下GF)は、今期の重要施策のひとつである「VoIP関連商品の拡販」に向け、このほどNTT関連会社であるエヌ・ティ・ティ・ファネット・システムズ株式会社(以下NTTファネット、谷本佳己社長、東京都新宿区)との間で、同社が開発したテレビ会議システムの映像集約装置『テレ会議Micsys(ミクシス、Multi Image Connection System)』に関して販売提携を行ないました。

当社では、主力製品である全自動テレマーケティングシステム(商品名:オートコンタクトシステム)の販売先である中小・中堅企業を対象に、自社ならびに全国で組織化しているGFネットワーク会加盟社(05年10月期加盟社621社、06年10月期目標781社)を活用し、6月1日より営業活動を開始します。なお、当テレビ会議システム販売の計画は、初年度50台を見込んでいます。

国内に複数の拠点をもつ企業では経費削減、業務効率化、サービス向上などを背景にテレビ会議システムを導入しつつあり、2004年度の国内市場規模はテレビ会議専用端末で約120億円、テレビ会議システムでは約15,000台にのぼり、年率20~30%で増加する傾向にあります。

(注:シード・プランニング調査による)

GFが販売するNTTファネットの「テレ会議 ミクシス」は、NTT東日本、NTT西日本のIPテレビ電話フレツフォンを利用し、従来の多地点接続TV会議システムとはまったく異なる独自の発想から生まれ、「簡単操作」「高品質」「低価格」を実現したPCなどの不要な画期的テレビ会議システムです。このテレビ会議システムは、「テレ会議 ミクシス」とNTT東日本、NTT西日本のIPテレビ電話フレツフォンならびに市販の音声ミキサー等周辺機器で構成されます。

テレビ会議システムの多地点接続は、一般的にはMCU(Multipoint Control Unit)と呼ばれる装置を利用していますが、このMCUは、接続拠点数が増えるにつれてテレビ会議の映像品質を左右する通信帯域を分割してしまうため、帯域の容量によっては画質が劣化するという欠点がありました。

今回のテレビ会議システムは、NTT東日本、NTT西日本の光ファイバー通信「Bフレッツ」を通し、フレッツフォンを使用して配信拠点(本社等)と各拠点(支社等)を1対1で接続、フレッツフォンで出力された各拠点の映像を、配信拠点に入力して一旦ミクシスと接続します。ミクシスで1つの映像に合成し出力用に切り替えただうえで、各拠点の端末に画像を配信するため、端末の性能を損なうことなく最大限の通信帯域を活用することができ、多地点での安定したテレビ会議を実現しています。

また、フレッツフォンを利用することによって、既存のテレビ会議システムと比較して圧倒的に低価格に抑えることができ、導入コストの削減を実現できます。既存のテレビ会議システム一式の導入費用は、4拠点で約300万円程度かかっていますが、このシステムでは一式200万円程度で提供することができます。

当社は主軸事業のシステム販売の強化策として昨年2月にIP電話対応の新製品を投入、当部門の増収とともにIP電話通話料収入などが前期業績に寄与してきました。また、今期の成長戦略として業種別・用途別パッケージの多様化とともに通信のVoIP化が進む環境において、当社顧客へのIP電話サービスならびに関連商品の販売強化を掲げております。GFではこの戦略を確実に加速させるためこのたびのNTTファネットとの販売提携によって、「テレ会議 ミクシス」の特長である「簡単操作」「高品質」「低価格」を武器に、全国に数か所の拠点をもつ中小・中堅企業を対象に販売に着手し、第2の主軸事業としてIP電話サービスに加えてテレビ会議システムの育成・強化にとりくむこととした次第です。

以 上



「テレ会議 Micsys 構成例」